

アート ボランティアインターン講座

オンライン

— 先の見えない今、アートと市民の関係を考え、行動する方法をまなぶ —

新型コロナウイルス感染症の影響で、作品鑑賞やワークショップなど、アートに触れる機会が減っているいま、アーティストやアートを支える専門スタッフ、そして作品鑑賞の場を提供する施設は、いったいどのような状況なのでしょう。

この状況がいつ好転するか、見通しの立たない中でも、「アート作品を鑑賞するだけでなく、アートを支える人たちの生の姿を知りたい」「自分も関わってみたい、参加してみたい」と思う方、また「アートの現場でボランティアやインターンをやってみよう」という思いをお持ちの方に向けて、全6回の講座をオンライン上で開催いたします。

講座では、京都を拠点に活躍するアーティスト、プロデューサー、舞台芸術制作者、また劇場施設などの現場に携わる人々に、現在の現場の状況やアートや舞台芸術を取り巻く環境、これからの課題などについて、幅広くお話しいただきます。

🎯 プログラム (全6回 / 各回前日までお申込できます)

9月23日(水)18:00～19:00

「文化芸術を担う人々 —二つの視点で考える—」

塚原悠也 (アーティスト / KYOTO EXPERIMENT 共同ディレクター)

10月14日(水)18:00～19:30

「芸術とコミュニケーション —伝えるってなあに?—」

ジュリエット・礼子・ナツ (PR マネージャー / KYOTO EXPERIMENT 共同ディレクター)
豊山佳美 (舞台芸術制作者)

10月27日(火)18:00～19:30

「京都は、舞台芸術のまち」

垣脇純子 (演劇制作者 / 劇団 MONO)

渡邊裕史 (舞台芸術制作者 / 劇団・ソノノチ / ワークショップデザイナー)

11月4日(水)18:00～19:30

「観客について考える —空間と時間を共有すること—」

川崎陽子 (プロデューサー / KYOTO EXPERIMENT 共同ディレクター)

門脇俊輔 (俳優・演劇制作者 / ニットキャップシアター / ベビー・ピー)

11月25日(水)18:00～19:00

「アートの現場を知る・見る・感じる ボランティア・インターンをやってみる」

井上美葉子 (ワークショップデザイナー / 演劇制作者)

12月9日(水)18:00～19:30

「最新情報! 劇場、感染防止対策のいま」

足立充宏 (ロームシアター京都 副館長)

参加対象 |

- ・アートの現場に関心のある方
- ・アートの現場でボランティアやインターンを体験したい方
- ・舞台芸術スタッフの仕事に興味がある方など

参加費 |

無料

※ 要事前申込 / 各回前日までにお申し込みください。

参加方法 |

オンラインで「Google Meet」を使用します。

※ パソコン・スマートフォン・タブレット等の端末とインターネット接続環境が必要です。

※ 開催日前日までに、メールにて「Google Meet」の URL をお知らせします。

※ 当日はオンラインでビデオオン・音声オンにできる環境でご参加ください。

申込方法 |

下記申し込みフォームよりお申し込みください。QRコードもご利用いただけます。

<https://forms.gle/Qkx4XrvuVZCJc96RA>

KYOTO EXPERIMENT 公式サイトからもお申し込み可能!

→ <https://kyoto-ex.jp/>



ゲストプロフィール (ご登壇順)

塚原悠也

アーティスト / contact Gonzo メンバー / 京阪なにわ橋駅併設アートエリア B1 共同ディレクター / KYOTO EXPERIMENT 共同ディレクター

1979年、京都市生まれ。関西学院大学大学院文学部美学専攻修士課程修了。2002年にNPO DANCEBOXのボランティアスタッフとして参加した後、運営スタッフとして勤務。2006年パフォーマンス集団contact Gonzoの活動を開始。殴り合いのようにも、ある種のダンスのようにも見える、既存の概念を無視したかのような即興的なパフォーマンス作品を多数制作。2011-2017年、セゾン文化財団フェロー助成アーティスト。2020年、演劇作品「プラータナー」におけるセノグラフィと振付に対し「読売演劇大賞」スタッフ賞を受賞。同年より京都市立芸術大学彫刻科非常勤講師。contact Gonzoとして近年の作品に、ホンマタカシとの協働作品「鹿を殺すと残る雪」(2018年/京都芸術センター)、YCAMパイオリサーチとの共同展示「wow, see you in the next life」(2019年/山口情報芸術センター)がある。2020年、KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭共同ディレクターに就任。

ジュリエット・礼子・ナツ

PR マネージャー / KYOTO EXPERIMENT 共同ディレクター

1992年、福岡生まれ。英文学と言語をオックスフォード大学で学び、2013年JETプログラムで来日、静岡市の小中学校にて英語教師として日本で仕事を始める。京都芸術センター、SPAC 静岡県舞台芸術センターにてインターンやボランティアとして活動の後、Ryoji Ikeda Studio Kyoto でコミュニケーションマネージャー、音楽及びパフォーマンスのプロジェクトマネージャーを務める。編集や舞台芸術に関する通訳、翻訳の経験多数。2017年よりKYOTO EXPERIMENT に所属し、広報およびプログラムディレクターのアシスタントを担当。2020年よりKYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭共同ディレクター。

豊山佳美

舞台芸術制作者

高校時代、演劇部の参加型ミステリー劇に感銘を受け、演劇部入部。商業演劇作品を好んでいたが、京都芸術大学映像・舞台芸術学科に入學後、実験的な舞台芸術作品に多数出会い、路線変更。卒業後はパフォーマンスグループ「chikin」を結成し、演出・出演・制作として京都を拠点に活動。日本-タイ共同プロジェクトの舞台でタイという国と文化に興味を持ち、2013-2014年タイへ留学。タイ語とタイ料理を学ぶ。帰国後はやはり舞台関係の仕事をしたいと思い、フリーランスの舞台制作者として演劇・ダンス・写真展・ミステリーイベントなどの制作に携わる。2017年よりKYOTO EXPERIMENT の広報を担当。得意料理はタイ風角煮とカオマンガイ。

垣脇純子

演劇制作者 / 劇団 MONO

1973年、兵庫県南あわじ市生まれ。京都市在住。近畿大学文芸学部芸術学科演劇・芸能(当時)専攻卒業。大学では全身タイツを着て踊ったり、顔を白く塗って無言劇をやってみたりしたもの、その傍らで行われる、宣伝用のチラシや立て看板を作ってお客さんを集めたり、スケジュール表や動員推移のグラフを作ったりすることの方が面白く、そういうことを専門とするらしい「制作」というスキルをつけるため、大学卒業後に京都に拠点を置くMONOという劇団に制作スタッフとして参加。以降、劇団制作を続け、2010年からはKYOTO EXPERIMENT のスタッフとしても活動している。

渡邊裕史

舞台芸術制作者 / 劇団・ソノノチ / ワークショップデザイナー

大学4年時に演劇と社会のつながりに興味を持ち、演劇活動と共にワークショップデザインを学び始める。大学卒業後、舞台芸術の支援やワークショップを行うNPOに所属し、演劇ワークショップ講師や、コーディネーター、企画運営業務を行う。近年はフリーの舞台芸術制作者として、京都の劇団・ソノノチの制作をメインとして活動中。また主に京都のカンパニーの公演制作の担当や、フェスティバルや街のイベントの制作・運営に携わっている。2019年より京都芸術デザイン専門学校非常勤講師として、企画基礎の授業を担当する。2018年よりKYOTO EXPERIMENT 事務局スタッフ。

川崎陽子

プロデューサー / KYOTO EXPERIMENT 共同ディレクター

1982年、三重生まれ。東京外国語大学ドイツ語学科卒業後、ベルリン自由大学にて演劇学を学ぶが、在学中は劇場でのインターンに明け暮れて、卒業せずに帰国。その後、コンテンポラリーダンスの制作会社・株式会社CANを経て、2011-2014年京都芸術センターアートコーディネーター。2014-2015年、文化庁新進芸術家海外研修制度によりベルリンの劇場にて研修。近年はジャンルを横断したプロジェクトの企画・制作を行い、振付家やダンスカンパニーのプロデュース、演劇作品の国際共同プロジェクト制作、ツアーマネジメントなどを務める。2018年、インドネシア・オーストラリア・日本のアーティストによる協働プロジェクト「The Instrument Builders Project Kyoto - Circulating Echo」共同キュレーション。KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭には2011年より制作として参加、2020年よりディレクターを務める。

門脇俊輔

俳優・演劇制作者 / ニットキャップシアター / ベビー・ピー

1981年、北海道生まれ。高校時代は放送部で、朗読の全国大会等に出場。京都大学入学後、アカペラバンドのサークルや自主映画制作のサークル等を経て、2002年に劇団「ニットキャップシアター」に入団。2003年には劇団「ベビー・ピー」の旗揚げに参加。以降、両劇団に所属し、俳優・制作者・公演プロデューサー等として作品創作と劇団運営に参加。京都を拠点に、大阪、福岡、東京、愛知、滋賀、兵庫、北海道、新潟等で上演をしている。舞台上ではカホン等の打楽器を演奏することもしばしば。2011年よりKYOTO EXPERIMENT の事務局スタッフを務め、経理・チケット管理・助成金の申請や報告等の役割を担当している。2007~2014年、NPO法人フリンジシアタープロジェクトに所属。2017年より一般社団法人毛帽子事務所のメンバー。

足立充宏

ロームシアター京都 副館長

1978年、京都薬科大学卒業後、京都市に入職。21年間の京都市立病院薬剤科勤務の後に異動し、保健福祉局及び区役所保健部等において業務行政・保健衛生行政に携わる。2016年3月に東山区役所副区長・保健センター長で定年を迎え、再就職で現在に至る。その傍ら、趣味で合唱活動にも注力し、在籍する合唱団京都エコーでは長くマネージャーを務めており、京都での自主公演はもとより、国内外での公演旅行、小澤征爾氏をはじめ著名な指揮者・オーケストラとの共演、レコーディングなど、数多くを担当する。なかでも、全日本合唱コンクール全国大会出場に係るマネジメント一切を担当し、その20年間を連続金賞で飾れた実績は高く評価されている。また、合唱連盟活動にも携わり、合唱祭やコンクールなどを催し、合唱の普及向上に努めている。京都府合唱連盟副理事長。全日本合唱連盟関西支部事務局長。

企画・ファシリテーション

井上美葉子

ワークショップデザイナー / 演劇制作者

6歳から16年間、アメリカのドラマ教育を基にした表現教育活動に参加、国際交流や多文化共生を身近に感じながら育つ。大学卒業後、行政施設や一般企業に勤めながら演劇活動に参加。2004年、大阪市立大学大学院創造都市研究科入学を機に演劇制作を専門に活動を始め、小劇場演劇や公共文化イベントの制作を担当する。フリーランス制作としてやなぎみわ、あごうさとし、ウォーリー木下、外輪能隆等の演劇作品に関わるほか、2007-2011年には商業劇場サンケイホールブリーゼのリニューアルオープンに制作として携わる。2015-2019年、神戸学院大学非常勤講師として、「社会人基礎力・汎用力」をテーマとしたワークショップ形式の授業を通年で企画・実施。ワークショップデザイナー講座修了、行政書士試験合格、NLPプラクティショナー資格取得、ボランティアコーディネーション検定2級取得、キャリアコンサルティング講習修了等々、人が関わる演劇周辺の諸事情について真面目に学ぶのが趣味。2015年よりKYOTO EXPERIMENT 事務局スタッフ。

企画についてのお問い合わせ

KYOTO EXPERIMENT 事務局 〒604-0862 京都市中京区少将井町 229-2 第長谷ビル 6F 担当：井上
TEL: 075-213-5839 FAX: 075-213-5849 E-mail: info@kyoto-ex.jp https://kyoto-ex.jp